

8月3日(月)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



音楽を楽しもう！道義ワールド全開の「宇宙への旅」



8月2日(日) 新日本フィルハーモニー交響楽団 会場：ミュージア川崎シンフォニーホール 撮影：青柳隆

今年のサマーミュージックの新日本フィルは「宇宙旅行」。ヨゼフ・シュトラウスのワルツ《天体の音楽》、宇宙が鳴り響くかのごとき壮麗なオルガン独奏を伴うサン＝サーンスの《糸杉と月桂樹》、そして「宇宙といえばこれ！」のホルスト《惑星》で締めくくる「宇宙プロ」で、痛快なオーケストラ・サウンドを聴かせてくれた。

1曲目のワルツから、井上らしい踊るようなパフォーマンス全開。楽しんでいる自分自身を身体全部で表現してくれる。その、音楽に対する誠実な姿勢

が共感を呼ぶ。昨年の今頃は癌治療で活動休止中だった。トークでは、片足立ちで「もう元気！」と復調ぶりも示していた。

ご覧の写真のようにオーケストラはTシャツ姿！井上マエストロの手になるオリジナル・デザインで、第一ヴァイオリンはブルー、第二ヴァイオリンはホワイト、チェロが…、んー、おおむねイエロー。ヴァイオラは、あれ？色とりどり…。ま、そこはともかく、カラフルでやわらかい雰囲気を演出。会場全体が、夏のフェスティバルらしい、うきうきするような華やいだ空

気に包まれた。

なお、《糸杉と月桂樹》は演奏機会の少ない作品だ。公演に先立って行なわれた公開リハーサルで重点的にさらってくれたおかげで、個人的にはもしかして一生分のこの曲を聴いたかも。公開リハの使い方はオケや指揮者によってもさまざまだろうけれど、ある意味本番に劣らない価値がある。お時間の許す方はぜひ！

音楽ライター 宮本明



マエストロ井上道義さん(写真中央)、オルガニストの松居直美さん(左)、惑星科学者の松井孝典さん(右)

8/2 新日本フィルハーモニー交響楽団

お客様の声から♪

井上さんのお話面白く、楽団員の方や井上さんが客席から登場するしかけも楽しかったです(15歳・中学生・宇宙エレベーター)ノオーケストラは迫力がありいいね。満足度100%(65歳・会社員・ヒロさん)ノリハーサルで一音一音を大事に作り上げ、曲が出来るのが分かり興味深かった(60歳・マウ)ノシアバクテリアから宇宙！コンサートでこんなに壮大なお話が伺えるとは。松井先生のお話も素敵でした(45歳・会社員・ぜぶら)ノ日々楽しんで生きるという二人の姿勢が好ましく感じた。音楽と違う学問のコラボはまたぜひやってほしいです(30歳・リンゴ)ノ最後、宇宙から地上に降りてくるところがシャレてるなと思いました(匿名)ノ誰もが楽しめる最高のコンサートでした!(20歳・学生・とす)

パートナーショップのご紹介

エンジョイ！川崎！！
Enjoy Kawasaki

お好み焼・もんじゃ焼
鉄板焼

若竹

川崎モアーズ7階
総合プログラムP.92
パートナーショップガイドP.10



ミュージアからJR川崎駅を越えて徒歩7分ほど。このエリアを代表する「粉もん」ラヴァーズの聖地？「若竹」。猛暑だからと冷たいものばかりでは体に良くないと、ガツンと鉄板焼きで栄養補給。まずは特典の1ドリンクでビール、よく冷えていて旨い！(お通し280円がプラスされますが、これも美味しかったので納得) 続いて「広島風お好み

焼き豚&イカ」が登場、直径約20センチ、標高10センチの堂々たる姿、ステキです。私はこれ1品で充分満足しましたが、大食漢を自認する方々は是非「食べ放題」にチャレンジを。

(事業担当:Blues)

サマーミュージック特典
半券提示で1(ワン)ドリンクサービス
ドリンク1杯目サービス

協奏曲は壮大なケミストリー 出張サマーミュージック@しんゆり!



佐山雅弘



小林美恵



海野幹雄



現田茂夫

8月2日(日) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 会場:昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ 撮影:ヒタキトモコ

私は約20年の音楽評論家人生で5,000ほどのコンサートを聴いたが、オーケストラはもっぱら好きなソリストが登場する協奏曲を目的に行く。指揮者が誰であれ、アマチュアを含めどこのオケであっても聴くようにしている。そして最近つくづく思う。「協奏曲」は壮大なケミストリー(化学作用)だと。協奏曲を聴いていて楽しいのはソリストの優れた演奏がオケの団員たちを活性化し、その集中力をいやが上にも高める様を目撃する時だ。

本日は小林美恵が独奏するラロ「スペイン協奏曲」を聴くのが目的だった。今年小林は1月藤沢レスプリ・フランセ

および3月白寿ホールでのリサイタルでも完成度の高いホットな演奏を聴かせていただけに大いに期待していた。実際にラロの第1,3楽章など正に快刀乱麻を断つという言葉がぴったりなものだった。5年前、彼女が演奏するヴァルド「6つの小品」を聴いて「まるで美剣士のように」と感想を述べた人がいたが今日の演奏なら納得がいく。しかしながら今日はオケの反応がイマイチで盛り上がりがないのだ。オケが励起状態にある時のあの緊迫感、集中力が感じられない。大丈夫か、神奈川フィル?

この日のコンサートで面白かったのはむしろ佐山雅弘が

独奏した「ラブソディ・イン・ブルー」。導入部の管楽器の鳴らし方なども彼の助言か? ジャジーな雰囲気がいきなり会場を覆う。かなり自由な解釈・改変で楽しめた。しかしこのオケにとって異質なガーシュウィンがラロにおけるアウェイ感の原因だったのではないか。そう考えるなら曲順は真逆(ドヴォルザーク、ラロ、ガーシュウィン)の方が良かったかもしれない。

音楽評論家 谷戸基岩

「出張サマーミュージック@しんゆり」は、8月8日も開催いたします。東京交響楽団による「二大交響曲」をお楽しみに!

出張サマーミュージック@しんゆり!

8/2 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

お客様の声から♪

ずっと前から佐山さんでラブソディ・イン・ブルーを聴きたかったのでやっと聴くことができとてもうれしかったし楽しかったです(主婦・ゆっこ)ノ小林美恵さんの多彩なヴァイオリンの音色と技術に酔いしました(27歳・会社員・ヤマハのオーボエっ子)ノ低価格で気軽にクラシックコンサートを聴ける機会を設けていただきとても感謝しています(40代・公務員・BakuBaku)ノバラエティに富んだ三種の楽器のコンチェルト、楽しみました(62歳・会社員・VIC)ノドヴォルザーク、今日のソロは少しゆっくりしたテンポで歌うように奏で、感銘を受けました(匿名)ノはじめて聞いた音楽でねむっちゃったけどたのしかったです(7歳)

NEXT!!

フェスタサマーミュージック 文・オヤマダアツシ

8月5日(水) 19:00 開演 東京都交響楽団

指揮: 大野和士

プロkofieフ: バレエ音楽
「シンデレラ」組曲第1番
ショスタコーヴィチ: 交響曲第5番「革命」



大野和士

ききどころ

気軽な名曲プログラムではなく、ガチで本格派のクラシックを聴きたい方にお薦め。困難や圧倒的な権力を前にしたとき、人間は無力なのか、それとも底力を発揮して勝利を得るのか。そんなドラマが音楽からピンピン伝わってくる名作、それがショスタコーヴィチ作曲の交響曲第5番なのだ。そして、あの有名な物語をバレエ化した『シンデレラ』の音楽から、舞踏会へ向かうシーンや真夜中になって魔法がとけるシーンなどを選んでハイライトも。大野和士&都響をミュージックで聴ける、超レアなチャンス!

S: ¥4,000 A: ¥3,000
B: ¥2,000 (S,Aは残りわずか)
学生券(25歳以下): 各席種半額

8/5の都響公演は、残席僅少となっております。売り切れの際はご容赦ください。

友の会キャンペーン実施中

サマーミュージック期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージックオリジナルチケットホルダーをプレゼント! (~8月9日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

友の会会員カード提示で はじまりました!
ミュージック川崎駐車場
1時間無料サービス



詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

ホール内ショップで発売中

●サマーミュージック
チケットホルダー
640円(税込)

チケットだけでなくA4チラシ三つ折も入ります。便利!

当日の感動をすぐお届け!!



嫌になるくらい暑い毎日がお過ごしてしまいませんか? そんな暑い中「ミュージック」までお越しください。ありがとうございます!!

皆様は夏休みは何をされていますか? 私は月に数回ですが、自転車で山を駆けまわっています。標高も低い山に行くので、気温も低く、木々から溢れる日差しがとても気持ちいいです!!

いよいよ夏休みが近づいてきました。皆様は夏休みは何をされていますか? 私は月に数回ですが、自転車で山を駆けまわっています。標高も低い山に行くので、気温も低く、木々から溢れる日差しがとても気持ちいいです!!

日常の景色を忘れると、いろいろな事や思い出が、毎回の休みに戻って来ます。山に行くときは、冬に撮った雪山の写真を眺めながら、山を歩くと、心待ちにしていた景色が、目の前に広がります。山を歩くと、心待ちにしていた景色が、目の前に広がります。山を歩くと、心待ちにしていた景色が、目の前に広がります。

山を歩くと、心待ちにしていた景色が、目の前に広がります。山を歩くと、心待ちにしていた景色が、目の前に広がります。山を歩くと、心待ちにしていた景色が、目の前に広がります。

スタツフ日誌